

ハローズガーデンプラス新発田店 [新潟県新発田市]

新潟地域最大規模の複合アミューズメント施設 従来より手間が省け業務の効率化を実現

屋内型アスレチックパークを軸に

幅広い層を受け入れる施設へ

阪和興業(株)のグループ会社として、アミューズメント総合施設の企画・設計・管理・運営を行なう(株)ハローズが7月14日、新潟県新発田市に「ハローズガーデンプラス新発田店」をグランドオープンさせた。同施設は、イオンモール新発田の2階における900坪を超えるフロアを使い、アミューズメントと屋内型アスレチックパークで構成。新潟地域最大規模の複合アミューズメント施設として、これまでの「ハローズガーデン」より幅広い年齢層を迎える体制を整えた。

特に、初出店となった時間課金制の屋内型アスレチックパーク「Jump862」は、7種類のアクティビティと幼児向けのキッズパークからなる全8コーナーを用意。ファミリー層はもとより、カップルや友人同士でも天候を気にすることなく楽しめる施設になっている。

また、アミューズメントエリアには200台以上のクレーンゲームが並び、来場者の目をひくメガクレーンから子どもや初心者でも楽しめるものまで多種多様なマシンを揃えた。リアル店舗でしか獲得できない景品も用意している。

マルチ決済の精算機とPOSを導入 省力化と安心感、拡張性を評価

この「ハローズガーデンプラス新発田店」の運営を陰で支えているのが、スターランドのフロントPOSシステム「スーパースター」だ。

「これまで、当社が運営する会員制の施設では、受付や精算業務は対人で行なうケースが多くたのですが、今回の『Jump862』はコロナ禍の真っ只中に計画を進めていたこともあり、人件費の抑制、業務の効率



入場受付と自動精算に対応。多彩なキャッシュレス決済に対応する



「Jump862」エリアの受付に設置された、セルフ受付・精算システムの端末



アスレチックをテーマとしたハローズの新業態「Jump862」



身体を動かす7種のアクティビティとキッズパークが並ぶ

化、そして非接触という条件をクリアできるものを探しました」。そう語るのは、ハローズ開発部の菊地部長。当初、予定していたシステムを変更し、スターランドのPOSシステムの導入に踏み切ったのは2023年の年明けだったという。

「同じ新潟で運営していた会員制の子ども向け施設でスターランドのPOSを使っていましたことから、あらためて連絡をとり、複合カフェなどの導入事例の視察を行ないました。これをベースにしたシステムでいこうとなったのが、オープンまで7か月という時です。短期間でのスピーディな対応をしていただきました」。

「Jump862」では、入場は会員カードで行ない、精算はQRコードが記されたレシートを使って行なう。自動精算機は、現金だけではなくクレジットカードや各種電子マネーにも対応するマルチ決済型だ。

菊地部長は、「従来より手間が省け業務の効率化が図れる。精算業務ではどうしても違算の問題が避けられませんが、人為的なミスや不正が起こりにくいという安心感も大きいですね。集計作業の時間も短縮され、見えない部分も含めて人件費の削減になるかもしれません」と評価。「今後は、運営しながら、必要なものをカスタマイズしていくと考えています。こうした柔軟に対応できる拡張性もこのシステムの強みだと思います」としている。

「スーパースター」シリーズとは

POSシステム「スーパースター」シリーズは、(株)スターランドが開発・販売。カラオケボックスのほか、複合カフェ、温浴施設、飲食店など各業界向けバージョンがラインナップされ、その導入施設から高い評価を受けている。